

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●エリザベス女王杯はスタンディングローズが優勝

11月10日(日)に行われたエリザベス女王杯(G I)では、スタンディングローズ(牝5歳/栗東・高野友和厩舎)が2022年秋華賞(G I)以来となる勝利をあげ、JRA・G I通算2勝目をマークしました。

### ●川田将雅騎手がJRA通算2100勝を達成

11月9日(土)の5回東京3日・第11レースとして行われた武蔵野S(G III)ではエンペラーワケアが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上8人目・現役4人目となるJRA通算2100勝(1万2518戦目)を達成しました。

### ●坂井瑠星騎手がJRA年間100勝を達成

11月9日(土)の6回京都3日・第3レースではパーティハーンが1着となり、同馬に騎乗した坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)は、自身2年連続2回目、本年5人目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●高田潤騎手のJRA障害通算勝利数が単独10位となる

11月9日(土)の6回京都3日・第8レースとして行われた京都ジャンプS(J・G III)ではスマイルスルーが1着となり、同馬に騎乗した高田潤騎手(栗東・フリー)はJRA障害通算147勝を達成しました。これは長池辰三元騎手の持つ146勝を抜き、JRA史上単独第10位の記録となります。

### ●三浦皇成騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

11月10日(日)の3回福島4日・第7レースでワールドシリーズに騎乗した三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、史上38人目・現役21人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

### ●永野猛蔵騎手が引退

永野猛蔵騎手(美浦・伊藤圭三厩舎)から騎手免許の取消申請があり、11月13日(水)付で騎手免許を取り消しました。JRA通算成績は2501戦111勝でした。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2024ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド盛岡は10月29日に実施され、第1戦は長浜鴻緒騎手(美浦)、第2戦は土田真翔騎手(美浦)が優勝。同日のトライアルラウンド金沢は、第1戦は土方颯太騎手(兵庫)、第2戦は古川奈穂騎手(栗東)が1着となっています。10月31日に行われたトライアルラウンド船橋は、第1戦を加藤雄真騎手(川崎)、第2戦を室陽一朗騎手(浦和)が制しました。この結果、JRAからは佐藤翔馬騎手、長浜鴻緒騎手、大江原比呂騎手、土田真翔騎手(以上美浦)、橋本太希騎手、河原田菜々騎手、田口貫太騎手、古川奈穂騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

### ●11月20日の浦和記念(浦和)で連覇を狙うディクテオン

浦和記念(JpnII、11月20日、浦和、2000<sup>米</sup>)は、昨年の覇者ディクテオンが最有力、アウトレンジ、ライトウォーリア(川崎)が続ぎ、ダイシンビスケス、メイショウフンジン、ナニハサテオキ(浦和)までが争覇圏内と考えられます。

### ●コスモストームらが参戦、11月21日の兵庫ジュニアグランプリ

兵庫ジュニアグランプリ(JpnII、2歳、11月21日、園田、1400<sup>米</sup>)は、JRA唯一の2勝馬コスモストームが中心、以下ベラジオリーム(北海道)、コパノヴィンセント、ハッピーマン、シャインミラカナ、ヤマニンシュラの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1メルボルンC〜ワープスピードは2着惜敗

現地11月5日にオーストラリア・ヴィクトリア州のフレリントン競馬場で行われたG1メルボルンC(3歳上、芝3200<sup>米</sup>)は、R.ドラン騎手を背に後方でレースを進めた19番人気タイ(単勝91倍)の伏兵ナイツチョイス(ハンデ51.5<sup>kg</sup>、騾5歳、父イクストリームチョイス、J.シモンズ&S.ラクソン厩舎)が優勝。G1初制覇を果たしました。菅原明良騎手を背に参戦した日本調教馬ワープスピード(54.5<sup>kg</sup>、単勝26倍)は後方からよく伸びてきましたが0.1馬身差の2着に終わりました。勝ったナイツチョイスは昨年7月のG3ウインクスギニー(芝1600<sup>米</sup>)以来となる重賞2勝目。今年10月19日のG1コーフィールドC14着(ワープスピードが13着)、10月30日のG3ペンディゴC5着からの参戦でした。

### ●豪年度代表馬プライドオブジェニが引退

2023/24年シーズンの豪年度代表馬プライドオブジェニ(牝7歳、父プライドオブドバイ、C.マー厩舎)の引退が鼻出血を発症して11着に終わった11月9日のG1豪チャンピオンズマイルのレース後に発表されました。プライドオブジェニは後続を30馬身ほど引き離す大逃げの末に6.54馬身差で制した今年4月のクイーンエリザベスS(芝2000<sup>米</sup>)などG1に3勝。ほかに高額賞金戦のオールスターマイル(芝1600<sup>米</sup>)も制しました。